

あの人この人の

ギョーカイにぼれ話

? !! ? !! ? !! ? !! ? !! ? !! ? !! ? !! ? !! ? !! ? !! ? !!

表紙のイラスト



高尾
「ぱちんこCR新・子連れ狼」
©小池一夫、森秀樹、(小島剛夕)

編集室

K編集長と部下のHさんは、昔当社で経理を担当していたHさんが、銀座のギャンブリーで写生クラブのグループ展に出品するというので、行ってみました。絵を鑑賞後にHMさんと3人で会食。HMさんは昨年旦那さんがある言葉に、負けそうでした。

■きちんと出席していますよ
「いえ、きちんと毎回(理事会には)出席していますよ(日遊協理事会で、記者が「理事会で、例えば韓さんが机を叩いて、これはこうだ、

亡くし、現在、傘寿近い年齢ですが、元気で明るくさっぱりした言動は昔と変わりません。お孫さんが4人いますが「孫なんてそんなに興味ないわ。私はベタベタするの嫌いだし、もっと楽しいことが回りにたくさんあるから。もう先はそんなにないから、楽しませてもらって、年齢を重ねた重みがある言葉に、負けそうでした。

それはおかしい、などといった場面があった、という声は聞こえてこないですが、理事会には出ていますか」との話に韓祐(株)マルハン社長(日遊協理事)

■業界誌も、きちんと表示を
「業界誌も、うちは、どの団体派、うちは別の団体派と、きちんと表示して記事を書いたほうがいいんじゃないの。面白いと思うけど(日遊協新年会で久保正博日遊協副会長。本誌記者が「まったくそんな気はありません」と答えると、「そうかなあ、いいと思うけどなあ」)

■あつという間に二元に戻ってしまいました
「昨年4月頃からです。1本、2本吸い始めたのがきっかけですね。あつという間に二元に戻ってしまいました。でも本数は減りましたよ。(1日に1箱(20本)行きません。以前は

RSN機関紙に相談員の悩みも

パチンコ依存問題電話相談の「リカバリーサポーターネットワーク」(RSN)が毎月発行している機関紙「さくら通信」が、昨年11月、12月は通常より4ページ増の8ページになり、過

去3回よりも、電話相談内容の例をあげた「ケーススタディ」を詳しく紹介している。

関するケーススタディで、パチンコ依存問題のほかに「総合失調症」「うつ病」「躁うつ病」をそれぞれ抱えた3つのケースを紹介。

11月25日発行の55号は、パチンコ依存問題の「問題を抱える夫を持つ妻からの相談」1件だけで、増やした4ページすべてを使い「相談の内容」「対象者(主)のパチンコ問題」「相談者妻の現状と気持ち」「相談員の見立て」「電話相談員のアドバイスは」など項目をあげて、網羅的に解説。

「相談員の悩みどころ」という項目では、電話相談員はこれらの合併する精神疾患に対して精神医学的な評価やアドバイスをしないよう指導されていることを説明。現在の支援者や主治医との関係、それに病状の悪化につながる可能性があるなど、影響に配慮しているからで、「精神疾患を抱

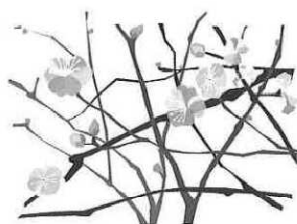
12月21日発行の56号は最も対応が難しい「他の精神疾患が重複する方たち」に

「精神疾患を抱



RSNの「さくら通信」55号、56号

2箱吸っていましたから(全日遊連の記者会見開始前に「タバコ吸いたければ5階で吸えますよ」と声をかけられ、「いつから(タバコを)また吸い始めたんですか」と聞いた記者に対して佐々木貴章広報課係長。6カ月で仲間に戻ってしまっただけ



遊技ジャーナル2月号

2012年(平成24年) 1月28日発行(通巻802号)

1964年(昭和39年)4月1日第三種郵便物認可(毎月1回・28日発行)

●発行所(有)遊技ジャーナル社●

〒110-0015 東京都台東区東上野1-2-13 カーニープレイス新御徒町702

☎03(3833)4245(代) FAX.03(3833)4638

E-mail journal2@nifty.com

●発行人・齋藤榮 編集人・久保田光博●

定価 2,500円 1ヶ年25,000円(送料・消費税込み)

振替口座 00140-2-62098 印刷所 志澤印刷(株) ※禁・無断転載